



Newsletter

No. 37

2010年4月15日

発行 レイバーネット日本

〒173-0036 東京都板橋区向原2-22-17-403

http://www.labornetjp.org

labor-staff@labornetjp.org

電話 03-3530-8588 FAX 03-3530-8578

「レイバーネットTV」開設を決定！ 若者ふえ元気いっぱいのレイバーネット総会

土屋トカチ

3月14日(日) 東京・駒込「どうたち」にて、レイバーネット日本2010の総会が開催された。「どうたち」とは沖縄の言葉で「独立」という意味。普段は、沖縄の物産を取り扱うお店だが、ライブイベントなども定期的に催されているアクティブな空間だ。参加者は45名だった。最も熱気に包まれたのは、現役の記者・毎日新聞の東海林智さんが「報道入門～何をどう書いたらいいか」と題した第二部の特別講演。「何をどう書いていいかなんて、僕にもわかりませんが・・・」としながらも「とにかく記事を書きまくり、体で覚えた」「集会報道などは、主催者の意見と違っていいから、自分で感じたことを書こう。たんなる"報告"でなく"報道"にするには、自分の眼で事柄にフォーカスをあてること」「現場がすべて。取材対象者にシンパシーをもとう」「生きた言葉をつかもう」など、失敗談・裏話を交えた現場記者ならではの実践的な話が展開し、会場からの質問もたくさん飛び交った。今後、レイバーネットの記事への影響が楽しみだ。

第一部の冒頭では、去年のレイバーフェスタ大阪の3分ビデオからのセレクション「ユニオンどじょうすくい」「働くおじさん」「雇い止め解雇とのたたかい 大阪経済大学でストライキ」「働いてメシを食わせろ！第40回釜ヶ崎メーデー」「くびくびカフェ」の5本が上映された。関東では今回初上映となった映像群は、関西ならではの味のある作品ばかりで、会場内の笑いを誘った。個人的には3



分間、終始どじょうすくい芸が続く「ユニオンどじょうすくい」には度肝を抜かれた。これは懇親会の場だけでなく、争議中でもやってみると、場が和んで(またはアナーキーな感じになって?)面白いかもしれない。総会論議では、インターネットの動画中継無料サービス「ユーストリーム」を使った「レイバーネットTV」の開設などの提案を受け、活発なディスカッションが行われた。今年の運動のポイントは、このレイバーネットTVによる月1回の生放送番組になりそうだ。また、アクティブなユニオンとつながりを意識的につくり、

< P2 につづく >

レイバーネット活動案内

会場は新たな発信スペース 四谷メディアール

ワークショップ「労働組合とインターネット」

労働組合にもっとネット活用を拡げたい、ということでワークショップを開催することになりました。ぜひご参加ください。4月に高田馬場から四谷に移転したメディアールを使います。

・とき 4月22日(木) 18.30 ~ 21.00

講師 石川源嗣

(東京東部労組インターネット担当)

*実際にネットにつないで話をします。またたっぷり質疑・交流の時間をとります。

参加費 500円(会員無料)

定員 20名(先着申込み順)

第一回「レイバーネットTV」実験放送(ゼロ号)

・とき 5月17日(月) 20 ~ 21時

自宅のパソコンで生中継でご覧いただけます。

中継サイトURIはメーリングリストなどで発表し

ます。双方向が可能ですので、コメントなどお寄せください。

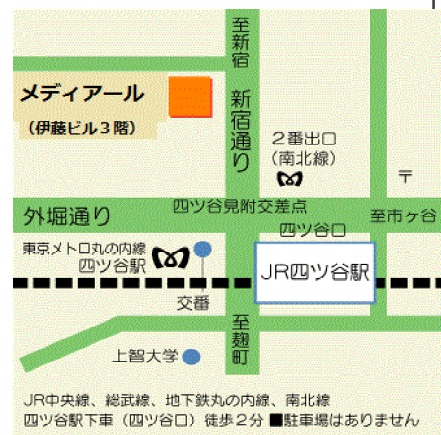
(アーカイブで後日視聴も可能です)

・ところ

四谷メディアール(JR四谷駅30秒)

新宿区四谷1-2-17伊藤ビル3階
03-6273-0363

主催 レイバーネット日本
電話 03-3530-8588 FAX 03-3530-8578



< 各専門部のことしの抱負 >

【報道部】 やったら返し、さらに返す

報道部MLでの日程調整や数回の会合を経て、順調に活動を続けている報道部。4月5日には、東海林智さんの総会報告「報道入門」について考える部会を開いた。「怒りをどう伝えればいいのか」ー表現スタイルや取材対象、運動の現状から課題まで。部員たちによって語られた内容は、実に多岐にわたった。激論もあった。それぞれに得意な領域があり、追い続けているテーマがある。生活のペースも、取材の手法も、使う機材も違う。国労闘争団の佐久間忠夫さんは、「やったら返す」という名言で仲間を鼓舞したという。ならば、「やったら返して、さらに返せ」と私は言いたい。つまり「載せたら終わり」ではなく、「良かった」とか「ここが足りない」など、記事についての意見を出し合うことだ。まず相手を労い、褒める。その仕事を認め、励ます。事実関係と背景に目を向ける。適度の酒とおいしい料理も、現場での活力を支えている。今後は学習会などもやりたいと思う。(横山隆英)

【川柳班】「ワープア句集」をつくります

今年の川柳班は『ワープア川柳句集』(仮称)を創ることになった。歴史の大きな転換期を同時進行で体験して句を吐き、ワークショップをしながらチャレンジするスケジュール。

句集づくりで決まったことは

体裁：文庫版 頒価：ワンコイン価格の範囲内 (450円から480円) 部数：1500部 頁数：64ページ

< 募集要項 > (別紙・チラシを参照)

おもな内容

2008・2009年のワーキングプア川柳を軸に、今年新たに宿題として「韓国・朝鮮」「うつ(病)」「選挙」「自由吟」を募集し、選句を掲載。そのほか川柳のチェックポイントや鶴彬の漫画(壺花花・画)「世相吟詠」「風刺の種」のコーナーなど……。通勤の途にバックから出して読んでもらえる親しみやすい内容にしたいと考えている。

表紙デザインは風刺漫画家の壺花花さんが担当。カットも協力して下さるとのこと、心強い限りだ。

川柳の締め切りは8月30日。(当日消印有効)何とんでも皆さんからの投句があつてこそその句集である。いい句がたくさん応募されることを期待している。編集委員は亜北斎

・乱鬼龍・わかち愛・(女性1名をただ今募集中) ホップ・ステップ・ジャンプ。今年の川柳班はさらにバージョンアップして「レイパーフェスタ」に臨むつもりだ。(わかち愛)



< 1ページから続き >

更なる運動拡大を支える財政体制も考慮していく必要があることも確認しあった。総会には若者の参加者が増え、しかも彼・彼女らの元気な発言が目立った。同店内での懇親会も30人近くが残り、交流を深めた。なお、運営委員には新任として、ジョニーHさん(音楽班)、正木俊行さん(川柳班)。退任は、浅井真由美さん、小松玲子さんが決定した。会計係については、武田敦さんが多忙のため交代することとなった。(レイバーネット日本事務局長)

< 新年度役員(順不同) >

伊藤彰信(顧問・全港湾)、河添誠(共同代表・首都圏青年ユニオン)、安田幸弘(共同代表・JCA-NET)、尾澤邦子(共同代表・ノレの会)、松原明(共同代表・ビデオプレス)、土屋トカチ(事務局長・映像グループ「ローポジション」)、佐々木有美(事務局次長・ビデオプレス)、武田敦(事務局次長・首都圏青年ユニオン)、松元千枝(事務局次長・国際部)、下見徳章(会計監査・郵政労働者ユニオン)、高幣真公(国際部長・APWSL日本委員会)、杜海樹(ライター)、安齋徹雄(出版ネッツ)、岩川保久(翻訳家)、なすび(山谷労働者福祉会館)、新田進(小川町シネクラブ)、広浜綾子(出版ネッツ)、東海林智(ジャーナリスト)、木下昌明(映画批評)、八幡純一(国労)、安並克磨(音楽家ユニオン)、森広泰平(アジア記者クラブ)、須田光照(東京東部労組)、横山隆英(フォトライター)、ジョニーH(音楽班)、正木俊行(川柳班)、小山帥人(大阪)、山原克二(大阪)

< 2009 年会計報告 > (09年1 ~ 12月)

【収入内訳】

前年度繰入金	355,723 円
会費収入	996,000 円 (332口)
カンパ収入	50,260 円
参加費収入(定例会など)	39,300 円
雑収入	4,240 円
企画収入(レイパー映画祭など)	50,133 円
総収入	1,495,656 円

【支出内訳】

交通費(会議、取材など)	156,110 円
ニュースレター印刷費	60,934 円
ニュースレター発送費	200,735 円
郵便・銀行手数料	36,035 円
通信費	72,613 円
文具費	5,345 円
会場費	44,000 円
事務所費	60,000 円
ネット関係費	167,475 円
賛同金など	10,300 円
ブックレット関係費	178,500 円
謝礼(講演、翻訳料)	10,700 円
雑費	60,305 円
企画(フェスタなど)への補填	57,863 円
次年度繰越金	374,741 円
総支出	1,495,656 円

*フェスタ・レイパー映画祭・ブックレットなどは独立採算。会財政からは補填・立替などでサポートしています。10年度は活動の幅が広がるため、財政拡大を計画。具体的予算は拡大事務局会議で決めることになりました。

一緒につくろう「レイバーネットTV」

松元千枝

日本の大手メディアでは「見れない、聞けない、話せない」ニュースや話題を取り上げようと、レイバーネット日本では5月17日からテレビ放映を開始することになりました。3月の総会で発表した企画案は、第一回会議ですでに番組構成が固まり、プロダクションチームは当日を心待ちにしています。初めての試みにも関わらず、第一回目からライブ中継に挑戦。というのも、メディアは「ユーストリーム」というネットを使ったオンライン放映。コンピューターがあればだれでもアクセスができます(お持ちでない方は、PC所有者と今からお友達になってください)。レイバーネットはただの情報源だけでなく、笑わせます、参加させます、一緒に考えます。1時間番組では、「news digest」「ザ・争議」「教えて、おじさん」「不満自慢」「ユニ・ゆに」「今月のご意見番」の各コーナーを設けています。

「news digest」では、その月のニュース報道のダイジェストを紹介。「ザ・争議」では、現在争議を闘っている仲間からの報告があり、「教えて、おじさん」コーナーでは、古くから労働組合活動をされている大先輩と新世代の若者たちに、世代間で素朴に抱える疑問・質問について討論してもらいます。やはりネットでの放映にはInteractive(双方向性)な要素は欠かせない、ということで「不満自慢」では「おかしい、こんな働き方」をテーマに、視聴者から会社でクビをひねるような絶対おかしい働かされ方(不満)を投稿してもらい、レイバーネット特有の川柳と替え歌で乗り切っていきます。「ユニ・ゆに」では、日ごろ元気にがんばっている労働組合(ユニオ



イラスト = 春花花

ン)を紹介します。そして最後に「今月のご意見番」としてコメンテーターの方から、その日の番組を総括したご意見をうかがう予定です。

海外でも市民メディアが次々とつぶされていく中、または運営を断念せざるをえない中、今私たちに必要なのは、やはり大手メディアでは報道されない・できないニュースや話題を取り上げていく市民メディアです。回を重ねていくごとに成長し、充実していく番組を作りたいと思っています。一緒に作っていきたくいと思われる方、ウェルカム。

(TVプロジェクト責任者)

インフォメーション

デトロイトでレイバーノーツ大会

アメリカの草の根労働運動ネットワークである「レイバーノーツ」の2年に一度の大会が、4/23～25に、ミシガン州デトロイトで開催される。1000人の規模。日本からもAPWSL日本委員会をはじめ、レイバーネット会員も多数が参加の予定である。

トルコ労働映画祭で「フツの仕事がしたい」

5月に開かれるトルコの労働映画祭で「フツの仕事がしたい」が上映される。トルコは失業率が高く労働運動も活発。これを機会に日本とトルコの労働者交流がすすみそうだ。

「労働者文学」66号・原田寛さん追悼特集

労働者文学会が発行する「労働者文学」66号が発行された。内容は、労働者文学の活動家・原田寛さんの追悼特集で、ほかに小説・詩・短歌・俳句なども多数掲載されている。800円。申込み 03-3818-6671

新作「イラク占領に立ち向かう」の全国上映イラク平和テレビ局 in Japanでは4月より「イラク占領に立ちむかう～真実を映す民衆のメディア・サ

ナテレビ」の上映を、18日千葉を皮切りに全国各地で取り組みます。占領下のイラクで市民たちは、何を訴えるのでしょうか？ サナテレビは、直接インタビューでその声を届けてくれます。・詳細 <http://peacetv.jp/>

DVD「死んだるヒマはない」完成上映会

ビデオプレスの新作「死んだるヒマはない - 益永スミコ86歳」の完成記念上映会が、5月12日(水)なかのゼロ視聴覚ホールで開催される。影書房と共催で、益永スミコさん(86歳)と元日本兵士・小山一郎さん(89歳)との175歳反戦トーク「9条改憲なんてとんでもない！」もある。TEL03-3530-8588。



新入会員紹介

さらなる夢ある飛躍に期待して 市川力政
今回たまたま駒込どうたちに出向き、偶然にも3月14日の総会に参加させていただきました。これまで、東京総行動などで、フィリピンヨタ争議の件で、国際部の高幣さんから、報告を依頼されてレイバーネットのサイトに報告記事を書いたこともあり、このような労働者側から発信するメディアの重要性を陰ながら応援していました。そういう気持ちもあって、レイバーネットのさらなる夢ある飛躍に期待して、今回会員となりました。(全造船いすゞ自動車分会)

労働・貧困問題を研究したい 根津弥
はじめまして。このたびレイバーネット会員になりました。根津弥と申します。現在は、東京大学大学院の修士課程に所属しております。学部生のときに、「グローバル化と労働」をテーマにしたゼミで勉強をしたのをきっかけに、労働問題・貧困問題に関心を持つようになりました。大学院の修士論文でも、フィールドワークを通してこうした問題に関する研究を行いたいと思っています。レイバーネットを通じて、今具体的に何が問題として動いているのか、勉強していければと思います。また、MLを通じて告知される様々なイベントなどにも積極的に参加したいと考えています。

私は琉球人の女労働者 島袋マカト陽子
一昨年、自治体労働者を早期退職して、琉球センターどうたちの無給・無休(?)専従になった島袋マカト陽子です。3月14日、レイバーネットの総会を、どうたちで開いていただいた。その日、皆さんの討議を向こうに聞きながら、台所で交流会の支度をしていた。そして思った、ワーキングプアって私のことか?と。でも自分で選んでプアになったから、違うか? いや、沖縄に押しつけられたこの状況が、私をこの道に進ませたのだから、選んだというより、そうせざるを得なかったのだ、琉球人として。総会翌日、勇者どもの夢の「痕」を片づけながら、残されていたレイバーネットのニュースレターを読んだ。私は琉球人の女の労働者だと思った。レイバーネットに入りたいと思った。かつて有給労働者だった時、そこに在ったのは労働組合運動だった。「米軍に因る性被害」を言ったら、組合運動と関係ないと言われた。誰もが自分らしく生きられ、命が尊ばれる世界を実現したい。五感も六感も駆使して闘わなければ、と思う。

よい出版物のために闘争中 兵頭圭児
明石書店で契約社員を中心に労働組合を結成したところ、会社は組合つぶしをしてきました。地裁で解雇無効の判決が出たにもかかわらず、会社は2人の組合員を職場に戻そうとしていません(詳しくは<http://alu08.exblog.jp/>)。出版不況の名の下で、業界全体で非正規雇用・下請け叩きが加速していま

す。「持続可能性」なき雇用が出版物の質を下げています。知や娯楽つまり文化を提供するはずの産業がこれでは、よい出版物など生まれようがありません。私は本もインターネットも好きです。本には本の良さがあります。それをレイバーネットを通して守っていきたいと思います。(明石書店労働組合)

富山で「9条平和」の活動 土井由三
「9条平和小杉の会」のメンバーです。この会は、今年5月に結成3周年を迎えます。武力では解決しない、この地上から戦争をなくそうという決意で、ささやかですが、活動を続けています。賛同人約700人。今年は、6月17日にベシワール会・現地代表、中村哲さんの講演会「アフガンに命の水を」を開きます。年に10カ月はパキスタン・アフガンで医療活動のほか、井戸を掘ったり、用水路をつくったりと、真の復興支援を続けて忙しい中村さんをお迎えできることを幸運に思っています。今回も、富山県内多くの民主団体や個人の方のご協力をいただき、順調に準備が進んでいます。旧小杉町の文化ホールが会場です。ひとりでも多くの方に参加いただくよう、さらに呼びかけていきます。詳しくは、当会のホームページをご覧ください。

オルタナティブ・メディアに関心 井上史(ふみ)
先月大学を卒業し、今春からパンオリエントニュースという虎ノ門にある中東の通信社で翻訳の仕事などを行っています。大学時代は被爆者の方を支援する運動などさまざまな活動をしていました。生まれは長崎、育ちは京都です。先日、レイバーネットの総会に参加し、会員のみなさんとお知り合いになることができ、すごく嬉しかったです^^。そのときに少しお話ししましたが、卒論は、アメリカにおけるメディア産業の寡占化とオルタナティブ・メディアの発展史をテーマに書きました。最近引越しをしたところでまだ生活が落ち着いていないのですが、これから少しずつ企画や会議に参加させていただこうと思っています。

夫の過労自殺で裁判しています 三浦久美子
平成21年(行ノ)第176号 遺族補償給付不支給処分取消等請求事件。厚生労働省 外郭団体 労働福祉機構 青森労災病院 主任薬剤師 三浦恵吾が、2000年12月11日(月)に過労自殺をしてから9年が過ぎました。東京地裁・高裁(園尾裁判長)と敗訴が続き、2009年12月7日に最高裁へ上告受理申立理由書を提出し、要請行動も行っております。労災病院の本部は、労働省労働基準局補償課職業病認定対策室長・労働省労働基準局安全衛生部計画課長補佐・京都労働基準局長・人事院職員局参事官・中央労働委員会事務局調査課長補佐・会計検査院第四局厚生検査第一課調査官兼総括副長・京都労働基準局次長・岐阜労働基準局長・労働省復帰・人事院復帰等の人事があります。これだけの人事にも関わらず、亡恵吾が携わった薬剤在庫管理システム開発に使用したパソコンから労働時間を割り出すための調査を、全くしていただけないことは誠に遺憾です。今後ともご支援・カンパ宜しく申し上げます。

レイバーネット日本の会員になりませんか

現会員数 440 名

ウェブアクセス 1日 1700

会員になれば、自分でニュースやイベント、お知らせを提供できます。レイバーネット日本は組合で個人で全国にアピールする絶好の場所です。

年会費 3,000 円

郵便振替 00150-2-607244 レイバーネット日本
郵送宛先 〒173-0036 東京都板橋区向原2-22-17-403
レイバーネット日本事務局
入会申込用アドレス apply@labornet.jp.org
電話 03-3530-8590 ファクス 03-3530-8578